

B!-CO

Build-communication

63 2019.07



02



01 凸凹+凹凸

特徴的な外観のコンセプトは凸凹+凹凸。南から見て東西で2棟に分かれたようなデザイン。道路斜線制限内で、東側が凸の場合、西側は凹、東側が凹の場合、西側は凸になって変化をつけています。

02 雨より晴れ

大胆にも共用廊下と共用階段の屋根を無くしました。雨の日は傘を差さなければなりません。それと引き換えに晴れの日には玄関ドアを開けると青い空と白い壁が広がります。雨の日の利便性より晴れの日のお気持ち良さを選んだ共用部です。

03 洗練されたインテリア

内装やキッチン、洗面台等はオーナー様が選ばれました。白で洗練された空間に、遊びのある床材の選定や、デザイン性の優れた住宅設備機器など大変勉強させていただきました。

04 マンションサイン

オーナー様デザインによるマンションサイン。建物をモチーフにしたロゴが際立っています。

COULEURS 62

名古屋市千種区末盛通

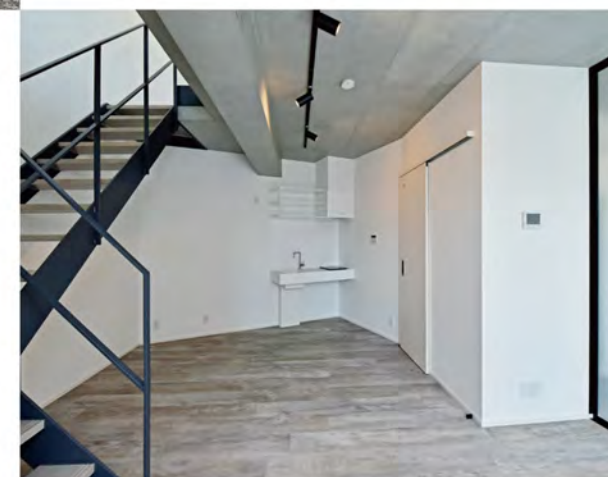
01

青い空、白い壁、 クルール62!

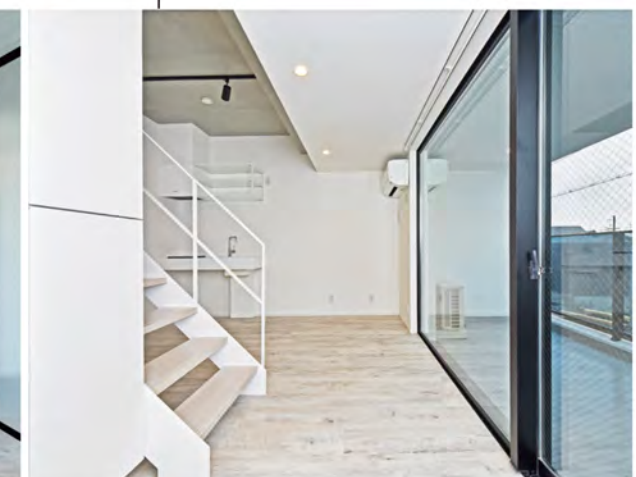
設計/東海・ビルド一級建築士事務所
施工/株式会社東海・ビルド

構造:鉄筋コンクリート造4階建
面積:敷地面積/169.78㎡(51.35坪)
建築面積/125.40㎡(37.93坪)
延床面積/396.89㎡(120.06坪)

今回のプロジェクトは覚王山駅徒歩1分という素晴らしい立地で、前面道路が4メートル弱という路地のような道路に面しております。そこからネーミングされたクルール62(ろじ)。駐車場も確保せず、51坪の敷地いっぱいに計画された店舗付共同住宅。1Fは2つの貸店舗、2Fに2住戸、3・4Fにはメゾネットタイプが3住戸の賃貸マンション。都会の雑踏の中、複雑に構成された住戸と開放感あふれる共用部を演出。



03



04



COULEURS 62

宙に浮くコンクリートボックス

敷地65坪、南側道路私道、駐車場設置不可、周辺エリアは单身者用のワンルーム多数。この条件から導き出した東海・ビルドの提案は、RC造4階建、1階を貸オフィス・物販テナント、2~4階部分は賃貸マンションで1LDK×3戸、メゾネット2LDK×2戸の構成。キーワードは「差別化」。ワンルームを並べて戸数を増やすのではなく、ハイクラス、ラグジュアリーに方向性を定め、他と競合しないデザイン性、機能性を持たせたデザイナーズ賃貸マンションが誕生。オーナー様とビルド、管理会社様の構想、感性が融合。ライフスタイルを重視する入居者様に選んでいただける建物になった。

01



02

グラン名駅

名古屋市東区太閤3丁目



設計/東海・ビルド一級建築士事務所
施工/株式会社東海・ビルド
構造:鉄筋コンクリート造4階建
面積:敷地面積/216.48㎡(65.49坪)
建築面積/128.05㎡(38.74坪)
延床面積/444.58㎡(134.49坪)



03

01 ファサード

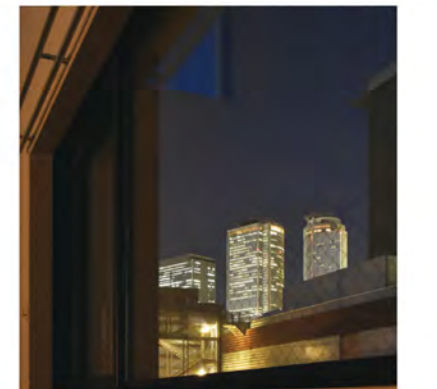
3つのコンクリートボックスのフレーム、ガラス、タイルで構成。下町が新しい街へと変化する中、「新しさ」「ラグジュアリー」をイメージさせる外観とした。

02 内部空間

内部にもコンクリートの箱が浮かぶ。窓からは名駅周辺の高層ビル群が見える。都会に住まう高揚感を掻き立てるデザイン。

03 プラン

1LDK、2LDKの混合で全5戸。65坪という広さの土地を最大限に活かす工夫を凝らした。全てが異なる間取りを展開。3、4階をメゾネットとし、EVの設置を避け、住戸部を充実させるプランにした。東隣地は病院の緑地帯。全ての部屋から緑が見える。



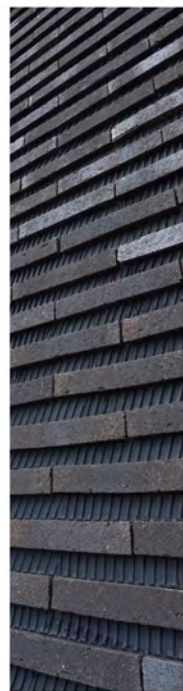


べるびれっじ三郷

尾張旭市三郷町

設計/東海・ビルド一級建築士事務所
施工/株式会社東海・ビルド

構造:鉄筋コンクリート造4階建
面積:敷地面積/559.29㎡(169.19坪)
建築面積/275.01㎡(83.19坪)
延床面積/806.43㎡(243.95坪)



張り方に
こだわり抜いたタイル壁が
特徴的な外観。

敷地は名鉄瀬戸線「三郷駅」から南に徒歩6分。

近隣には大型分譲マンションが数多く立ち並ぶ住宅街。

「分譲マンションに負けない賃貸マンション」を目指した。

外観はコンクリート打放し・塗装・タイルと3種類をバランスよく採用し、
使用するタイルはオーナー様拘りのタイル。

張り方も、タイルとタイルの幅から目地の深さ、模様まで拘り通した。

内観は白いクロスと打放しを数多く採用しシンプルに構成した。



第18回 建築見学ツアー in 飯田 Report

今回の建築見学ツアーは、長野県の飯田へ37名のお客様と行って参りました。新緑香る清々しい気候の中、とても気持ち良いツアーとなりました。

① ハナマルキみそ作り体験館

ハナマルキ創業100周年を記念して伊那工場の敷地の一角に建設され、竹中工務店が設計・施工を行った。昨年の数々の建築賞を受賞。雪をまとった山々をイメージした斬新な形をしているが、不思議なことに自然と調和していました。



ハナマルキみそ作り体験館にて記念撮影!残雪をいただく山脈をバックに白色の建物が映えます。



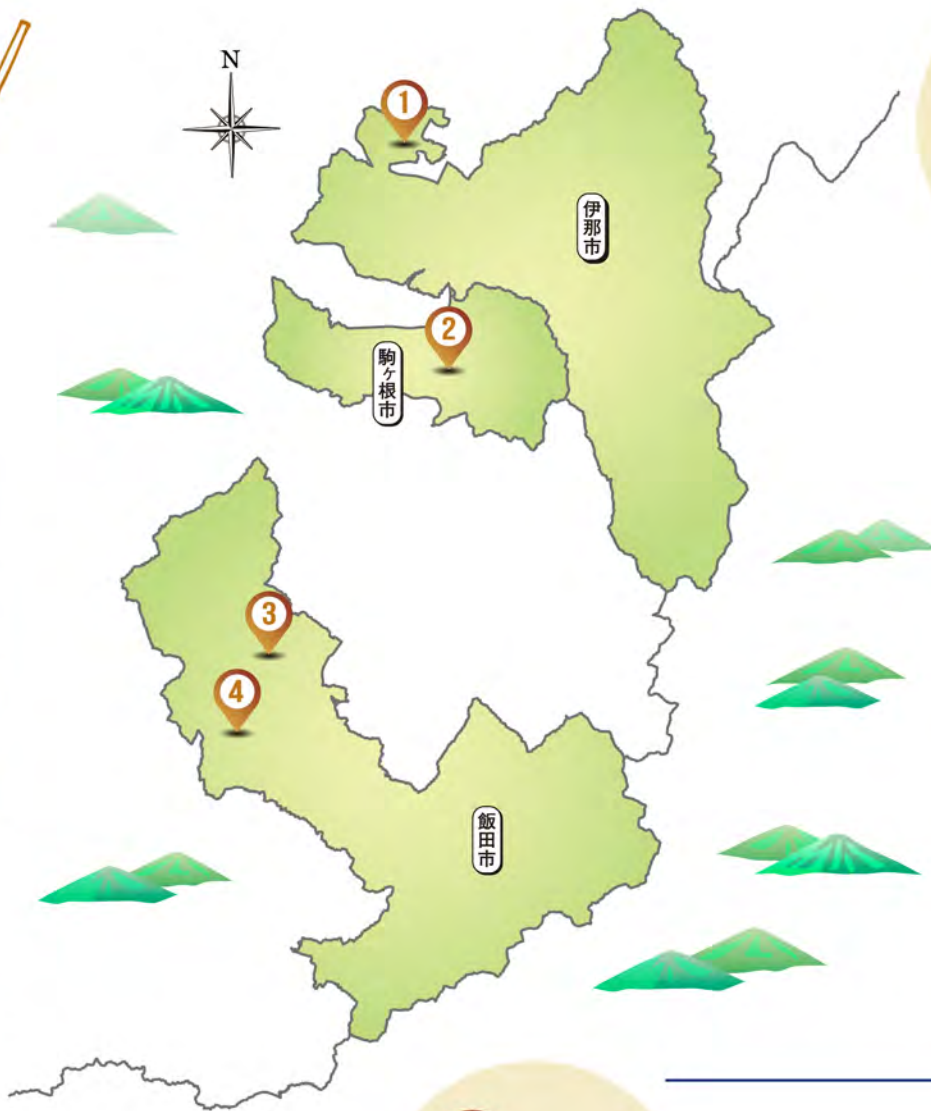
館内にてみそ作り工程などのレクチャーを受けたあと…。アルプスの雄大な自然を眺望しながら、みそ作りを体験しました!

② 信州駒ヶ根「やまだや保翁」

駒ヶ根の光前寺近くの蕎麦屋で昼食。信州八ヶ岳などで採れた国産そば粉を石臼で挽いた美味しい蕎麦を堪能しました!



お食事後は、光前寺を参拝。苔に木漏れ日が差し込む、きれいな庭園も散策しました。



③ 飯田市美術博物館

平成元年開館の飯田市美術博物館。設計は飯田市出身の建築家原広司氏。伊那谷の豊かな自然をイメージし、屋根で山脈、列柱で木立を表現。内外とも自然を建築に落とし込んだ独創的な建築でした。

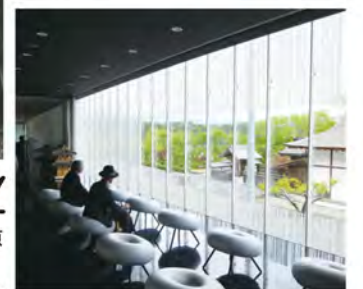


④ 旧小笠原書院・小笠原資料館

妹島和世氏と西沢立衛氏との建築家ユニットSANAAが設計した小笠原資料館。小さな資料館でしたが、ガラスに周辺の景色が映り込みとてもきれいでした。



ユニークな語り口調で、職員の方がガイド説明してくださいました。



オリジナル家具に座り、旧小笠原書院と景色を見ながら語らう…。

今回をもちまして、このシリーズは終了致します。また違う形でこのような企画を設けたいと考えています。18回に渡り、御参加ありがとうございました。

建築研修

in 上海2019

世界中の建築家が競うように建築する都市。それが上海。二泊三日で営業、設計、工事、積算と各部署からなる選抜メンバーで建築は勿論、文化、風土、人や音など各自様々な目線での感性を高めて来ました。

◆上海征大ヒマラヤ芸術センター

〈設計:磯崎新〉

シアター、美術館、ショッピングモールなどが入る複合施設。設計は今年、建築界のノーベル賞とも称される「プリツカー賞」を受賞した磯崎新。有機的なコンクリートのヴォリュームと漢字をモチーフにした外装が特徴的。



◆船廠1862

〈設計:隈研吾〉

上海を縦断するように流れる黄浦江。その川沿いにあった造船工場をリノベーションした建物。「1862時尚芸術中心」とも呼ばれ、施設内の店舗も現代的なデザインが満載。古い部分と新しい部分の共存が見事。



◆震旦博物館 (オーロラミュージアム)

〈設計:安藤忠雄〉



6階建て、延床面積6313㎡の館内には国宝級の仏像や陶器、画像石などが展示され、見事な照明計画が数々の作品をより際立たせる空間。絶妙な照度計画を体感。

◆上海国際設計中心

〈設計:安藤忠雄〉

安藤氏にはめずらしい高さ99mの高層ビルディングと低層棟で構成され、2棟を連結するような「ブリッジ」が高層棟を囲みこむ。低層棟同士も連結されており、全ての建物が一つの連なりとなる。



◆1933老場坊

元々は屠畜場として建てられた施設を生かしたままレストラン、アトリエ、ギャラリーなどが連なる芸術空間。円形の建物の周りをコの字型の建物を取り囲み、その間をスロープ(エアブリッジ)でつなぐ構成は建築当時の屠畜場そのままに、新しいデザインを溶け込ませた何とも言えないノスタルジックな雰囲気でした。



◆上海保利大劇院

〈設計:安藤忠雄〉

上海郊外の嘉定区に現在建設中のニュータウン(嘉定新城)のシンボルとなる文化複合施設。オペラハウスのほかにホテルや商業施設を備える。外観は100m×100mの正方形、高さ30mの矩形に直径18mの円筒状のヴォイド空間を様々な角度から挿入し、三次元的な空間要素を建築構成の骨格としている。



◆凌空SOHO

〈設計:ザハ・ハディッド〉

開発区「上海虹橋臨空経済園区」内の大型複合ビル。建築面積は35万㎡。4棟の流線形のヴォリュームを数本の連絡通路がつなぐ奇抜な外観が特徴。北京でも体感したザハ建築。今回も圧巻の一言でした。



◆瀧美術館

〈設計:大舎建築設計事務所〉



黄浦江西岸にあるアート・コレクターの個人美術館。石炭積み出し施設を美術館にリノベーション。既設のホッパーを大胆にせり出したコンクリート打放しR壁が包括するデザインが心地よい空間を構成している。

詳しくはブログをCHECK!

2019チャリティーイベント

ワンコインハート

2019

Report

春の高山祭り(4月14、15日)を絡めた4月13日~16日
高山町屋「惣四郎」にて毎年恒例チャリティーイベントを開催致しました。

今年は地元高山の日本酒、地ビール、ジュースに加え、お抹茶を提供させていただきました。お抹茶では設計部を中心に3年間修練したお点前を披露。お茶をたて、ゆっくりと気軽に飲んでいただく。お客様の9割が外国からの観光客の方でしたが、ボランティアの通訳の方のお手伝いもあり、大変喜んでいただきました。連日たくさんの方々に参加して頂き、1日に13回もお点前を行う日もありました。



今年もイベントを通してたくさんの方と出会い、様々な感性を体験できました。4日間の開催で延べ800名の皆様が来場されました。売り上げは「一般社団法人もちもちびと」様を通じて精神障害を持つ方々の就労支援に寄付させていただきました。



地元の皆様から「来年も是非やって下さいね!」と温かい言葉を頂きました。



新入社員紹介



営業部 岡本 直子

初めまして。
4月に入社致しました営業部の岡本直子です。
小学生の頃から大学まで約15年間野外活動等のボランティアをしてきたので、キャンプやBBQなどのアウトドアが好きです。
また、そのような活動を通して様々な方と関わってきたため、人と関わることが好きです。
建築に関しての知識はまだまだ乏しく、至らない点も多いですが、持ち前の明るさで早く一人前の営業になれるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



工事部 中川 龍

初めまして。
今年の4月から入社しました工事部の中川龍です。
私は、3年間建築の専門学校に通い、幅広く建築の知識を学んできました。そのおかげで、学生時代に二級建築士の資格を獲得できました。
学校では、設計の勉強をしていましたが、就職活動の時に現場に出て構造を学ぼうと思い、現場監督の道に転向しました。
まだ現場に出て間もなく右も左もわかりませんが、一つ一つ確実に仕事を覚えていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



皆さんこんにちは、BI-co編集部です。
今回のBI-coは、元号が令和に変わっての記念すべき第1号になります。
5月には気温35℃を記録するなど、夏らしさを感じる今日この頃。梅雨に入り、昨年のようなゲリラ豪雨など異常気象が心配です。
心配といえば、この原稿を書いている時、プロ野球交流戦が始まりました。地元ドラゴンズは、去年同様負けがこんでいます。今年鳴り物入りしたルーキー達は、もがいている状態ですね。
また社会問題では、高齢者による交通事故が毎日のように報道されています。自動車メーカーの開発でアクセルとブレーキを踏み間違えても安全な技術の提供はもちろん、ドライバー自身の運転モラルの向上が期待されますね。
社員一同、建物同様に安心・安全に取り組んで参ります。

TOKAI-BUILD NEWS 「BI-co」編集部



株式会社 東海・ビルド

☎052-772-9100(代)

<http://www.tokai-build.com>

特定建設業知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(5)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店

〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

✉ eigyo@tokai-build.com

東海・ビルド

検索